

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所/社団法人 福商会 発行責任者/後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092-711-9890 FAX : 092-711-9266

Eメール: info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.146
(2006年9月 発行)

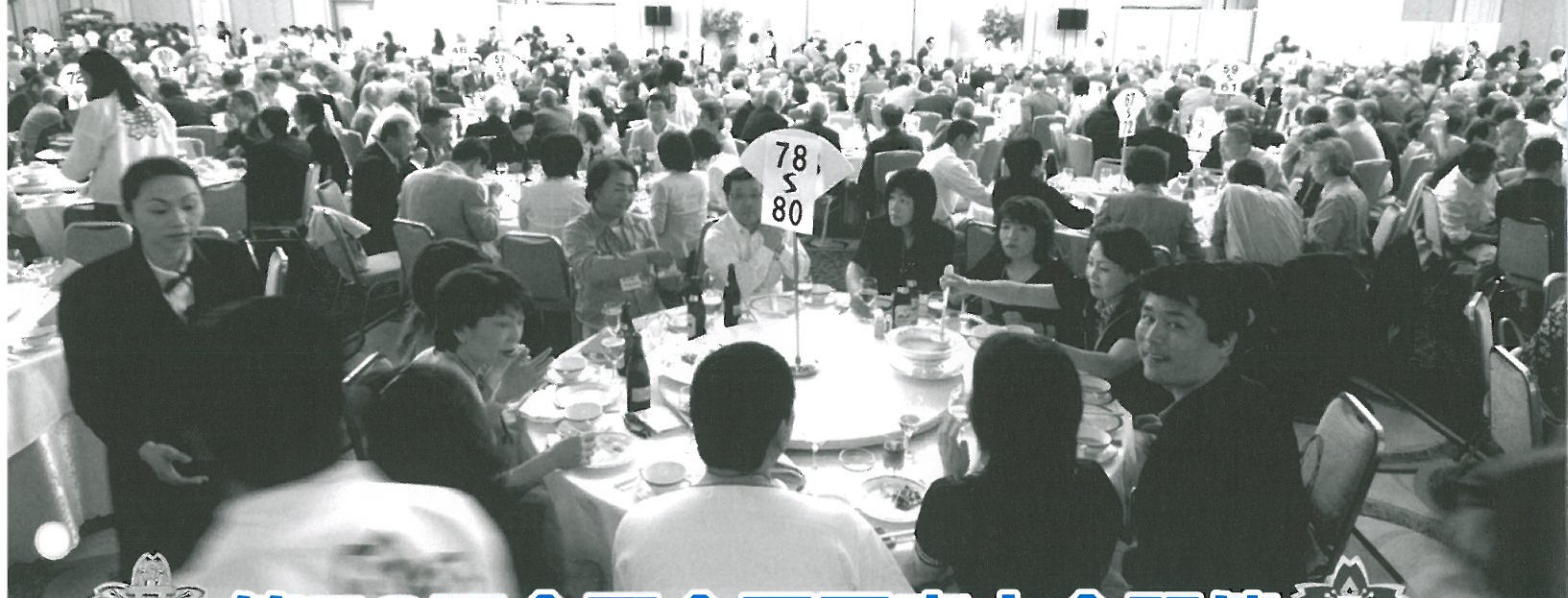
Alumni Association

～分かち合う喜び、56回目の再会。～

第56回 福商会全国合同同窓大会



第56回 福商会全国合同同窓大会



第56回全国合同同窓大会開催

～同窓の輪広がり絆深める～

初夏の日差しが眩しい6月4日、第56回全国合同同窓大会がホテルニューオータニ博多において、来賓、同窓生、当番幹事ら900余名が集い盛大に開催されました。当番幹事の橋垣節雪^{せつゆき}大会実行委員長(81回生)から力強い開会の挨拶があり、続いて山口毅理事長から「新しい執行体制のもと同窓会組織の発展に向け、年会費の納入者が増加していることは福商会会員の皆様のご理解とご協力のたまもので、深く感謝申し上げます。母校への支援活動では、5月から大手予備校との間でサテライト講座を開講し、その設置について支援を行いました。また、部活動では演劇部が全国大会出場など、一層の飛躍が期待されます」と母校への思いと、これからの福商会運営について述べられました。

来賓の福岡市教育委員会の植木とみ子教育長からは「明治37年の福商会発足以来、母校とともに輝かしい歴史と伝統を築かれ、母校並びに福岡市の発展のため多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。教育委員会においても、福岡市を支える人材の育成を目的とした福岡市教育改革プログラムの推進に努めたいと考えております」との言葉がありました。

また、福翔高等学校の清水昭男校長からは「今年に創立107年目を迎え、2000年の改革に続く『平成の福翔改革セカンドステージ』として取り組んでおり、入学する生徒の目的意識をより明確にさせ、進路希望に応じたクラス編成を行っています。この取り組みを通じて成果を上げ、市民から求められる福翔高校へと向上させ

てまいりたいと思えます」と学校の現状について説明がありました。

続いてこの1年間に亡くなられた方129名に対し黙祷を捧げました。その後、後藤幹生専務理事より平成17年度の会務報告を行い、恒例の米寿(33回生)9名にお祝い金、喜寿(44回生、45回生)46名に記念品を贈りました。また、44回生の藤野守弘氏が昨年の秋の褒章で旭日双光章を受章され、その功労にお祝い金を贈りました。

最後に育英奨学資金にと多額のご寄付をされた53回生への感謝状を理事の藤村みつのさんが代表して受け取られ式典を終えました。

懇親会では先輩、後輩の同窓の輪が広がり、大いに会場は盛り上がり、名残なき中、同窓大会を終えることができました。

CONTENTS 目次

全国合同同窓大会	2
就任挨拶.....	4 恩師シリーズ..... 14
新旧校長・教頭挨拶.....	5 先輩訪問..... 15
理事会報告.....	6 同舟往来..... 16
決算報告.....	7 同窓会報告..... 17
同窓会記念座談会.....	8 福商100年史..... 18
三者懇談会.....	10 福商かわら版..... 19
学園から.....	11 会費納入者一覧..... 20
プレイバック.....	13 企業紹介..... 22

式典



●当番幹事の皆さん(81回生)

●来賓の方々



第五六回福商会全国合同同窓大会
式典次第

- 一 開式の辞 大分県庁議員 原田広洋
- 一 君が代斉唱
- 一 実行委員長挨拶 大分県庁議員 橋垣詩晴
- 一 来賓紹介
- 一 大会会長挨拶 (社)福商会理事長 山口毅
福岡市教育長 植本とみ子
福岡県知事 清水昭男
- 一 物故者慰霊 黙祷
- 一 会務報告 (社)福商会理事長 佐藤幹生
- 一 米寿・喜寿祝い記念品贈呈
- 一 感謝状贈呈
- 一 閉式の辞 大分県庁議員 吉村寿昭

●米寿代表挨拶の
篠原先輩(33回生)



●記念品を受け取る前田理事(45回生)



●喜寿(44.45回生)の先輩方



●清水校長の挨拶



●山口理事長の挨拶



●植木福岡市教育長の挨拶



●川邊先輩(33回生)の乾杯



●当番幹事お出迎え

懇親会

第五六回福商会全国合同同窓大会
懇親会次第

- 一 開会のご挨拶 大分県庁議員 藤野明雄
- 一 乾杯 川邊清三 三三回生
- 一 閉会
- 一 引継ぎ式 八二回生から八三回生
- 一 応援歌
- 一 博多手一本
- 一 閉会のご挨拶 大分県庁議員 藤野明雄

●博多手一本



●次回の当番幹事挨拶



●当番幹事引き継ぎ式
(81回生から82回生へ)



●大先輩のマジックショー

新副理事長、専務理事就任挨拶



副理事長
秋丸 武士 (58回生)



副理事長
高木 不二男 (60回生)

培われたエネルギーを

母校の躍進に

私儀 秋丸は福商校第58回生でございます。今般、理事より今年の4月に副理事長に就任させていただきました。この重責を私なりに精一杯頑張りたく存じます。微力ではありますが少しでも皆様のお役に立つよう努力してまいります覚悟で御座います。よろしくお引き回しの程お願い申し上げます。

在学中は、運動部に所属し、毎日が汗と苦しさの闘いであったように思います。この培われたエネルギーを母校の躍進に寄与できれば幸せに存じます。

福商会も諸先輩の方々のご尽力のお蔭ならびに山口理事長の改革の力強さをはじめ後藤専務理事そして川瀧事務長と各理事の方々が以前にもましてすごいパワーアップしていると感じております。

私も「福商校ここにあり」の誇りを復活し、部活も強くなって欲しいと大いに希望しております。会員の皆様とともに福商会のために頑張つてまいります。

お役立ちの気持ちで

会に貢献

福商会の会員の皆様におかれましては、お元気でご活躍の事と拝察致しております。また、平素は会の運営に多大なるご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は60回生の高木不二男と申します。一昨年、福商会の理事に就任させて頂き、会の歴史や組織等、基本的な事を勉強中の身でしたが、今年4月の理事会で山口理事長より突然、副理事長候補として推薦され、理事会の承認を得て、この大きな責任の重い役職をお引き受ける事になりました。

在学中は、スポーツに明け暮れてばかりで、卒業後も会費を納入するだけで何一つお手伝い出来ておりません。今回のご指名は母校に恩返しをし、福商会に少しでもお役立ちをなさいたいという山口理事長の命令だと思っております。お引き受けした以上、微力ですが精一杯努力してまいります所存です。

現在の福商会は理事長の強いリーダーシップと行動力で、大きな問題もなく進行していますが、相談役や諸先輩方のお力添えは心強い限りです。役割、各回の同窓会

に出席させて頂いておりますが、卒業生の皆様の福商出身の誇りと、仲間としての絆の強さを感じさせられますし、卒業生の皆様が校歌、応援歌を歌う時の顔は最高です。また、先輩の方々が異口同音に言われる事は、昔のように部活を強くして欲しいという事です。会員の皆様のご指導、ご協力を頂きながら福商会の発展に貢献してまいりたいと思えます。



専務理事
後藤 幹生 (55回生)

良き伝統を守り続けたい

前専務理事前田福一君の逝去によりまして、4月10日より残任期間を就任することになりました。前田君と同じ55回生で、昨年の10月に副理事長に就任しましたが、副理事長として満足のゆく仕事に至らないままに、より詳細な事務内容を求められる専務理事になりました。その職務の重大さを認識させられているところであります。

福商会にはより精通された方々が沢山いらつしやる中に未熟な私が就任しますことは会員の皆様方に不安と負担をおかけすることになると感じていた所でありました。しかし一旦お引き受け致しましたからには、自分の持てる力を存分に発揮して福商会のために尽くす所存です。

会員の皆様福商会への強い愛着と、母

校福翔高校への熱き思いを抱いておられますことに、誠に心強く感じているものであります。在校生達が学校で勉学に、文化に、スポーツに思う存分に活躍できる良好な環境を整えることが大切であると考えます。福翔高校の卒業生達が先輩諸氏と同じく福博各界のリーダーとして、また広く日本、世界へ羽ばたくことを期待するものです。福商会と致しましても最良のお手伝いが出来ますように、私なりにその職責を果たすつもりであります。

福商会の同窓会活動は他に例をみない素晴らしい活動であると思えます。これも今までに先輩諸氏が築き上げられた良き伝統を守り続けてこられました賜であります。私も微力ながら会員の皆様方の御指導をいただき、福商会の発展のため努めてまいりたいと思えます。よろしくお願い致します。私の心がまえを述べまして就任のあいさつと致します。

相談役会開く

山口理事長ら役員と相談役との懇談会を5月9日、天神テラにおいて開催しました。

新しく副理事長に就任した秋丸武士氏(58回生)、高木不二男氏(60回生)、専務理事の後藤幹生氏(55回生)また、新相談役の上田徳蔵氏(52回生)を交え、母校が進めている「福翔改革」の取り組み(サテライト講座など)や当会の1年間の活動状況について意見を交わしました。

福翔高校新旧校長及び教頭挨拶



校長 清水 昭男

より高い信頼へ 全職員的一致協力

「福商会の皆様こんにちは。本年4月1日に着任いたしました清水昭男です。前145号に学校経営方針を述べて校長としてご挨拶をさせていただきますので、今回は私の自己紹介を以て改めての新任挨拶といたします。

私は昭和24年、当時の福岡県糸島郡（現在は前原市）に生まれました。祖父甚吾が初等教育者でしたので、幼いころから学校や教育関係者に近いところで育ちました。鹿児島での大学時代を除く平成11年までは、糸島と福岡市の西半分を過ごしましたから、博多の街や南区はほとんど知りませんでした。ただ幼少の頃は年に数度、岩田屋とか玉屋に連れて行ってもらったとき、福岡や博多の『街に行く』といふ、よそいきを着て心ウキウキ出かけたのを覚えています。また前原町商店街の子ども山笠に参加したとき、博多の街には本物の山笠があると聞いて憧れを抱いた記憶もあります。

平成12年に改名直後の福翔高校へ転勤し、教頭として創立百周年記念式典の司会を務めさせて頂きましたが、福岡商業から連続と続くフクシヨウ精神に初めて接し圧倒された体験でした。教育に対する思いはそれなりに持っておりましたが、社会への貢献の志を動機に自ら学び、級友との切磋琢磨のうちに自分を育てるという文化が、大先

輩が作り上げられた歴史のなかにしっかりと刻み込まれていることを知り感動いたしました。そして新しい歴史を創造する営みの輪に加えていただく誇りと責任を強く感じました。

本年度再び、今度は校長としてお世話になることとなり、多くの中学校などからの信頼をより高め「安心して生徒を送り出せる高校」と評価されるように、また福商会の皆様から母校の有り様に安心していただけるように、教職員の力を重ね合わせて努めます。今後ともよろしくご支援賜りますようお願いいたします。挨拶といたします。



前校長 段 裕明

皆様の母校の大きな 発展を確信して

福商会の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じ上げます。日頃から母校並びに後輩に対し、ひとかたならぬご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私は、本年3月末日をおもちまして、本校校長を退任いたしました。この二年間、たいへんお世話になり、皆様の温かいご指導、ご厚情を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。私にとりまして、福翔での二年間は、誠に充実したものであります。

福翔生一人ひとりの願いや要望、並びに保護者・市民の負託に確かに応える福翔高校となるよう、誠心誠意、改革・改善を進めること

ができたと自負しております。

これも、山口理事長様をはじめ、福商会の皆様方のたいへんなご支援があったからこそであります。また、皆様方と父母教師会の方々、そして学校の私たち、三者の定例会議を持ち、本校の改革・改善について率直なご意見を積み重ねができたからと考えます。これこそ、百年を超える歴史と伝統の重みのなせるところと今つくづく感慨の念に浸っているところであり、やはり、皆様方の母校はすごい学校であります。

この「平成の福翔改革セカンドステージ」において、スターターの現一年生が、清水校長を中心とした先生方の「尽力」により、今、十分に期待に応え、着実に前進していると聞き及び、誠に喜ばしく嬉しい限りで、本校はこれから大きく発展すると確信いたしました。どうか、今後とも、母校並びに後輩に対しまして、倍旧のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

結びになりますが、福商会の更なるご発展、並びに会員の皆様の益々のご活躍・ご健勝を心から祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。本当にありがとうございました。



教頭 中山 哲紀

『克己成功』

講堂の前方入り口の右側に『克己成功』と書かれた額があります。これは、大正11年第19回卒業式に臨席した金子堅太郎（潘校修猷館出

身の外交官、大日本帝国憲法の起草に参画。伯爵が求めに応じ誌したと説明にあります。3世紀にわたって確かな歩みを刻んできた本校の分厚い歴史と伝統を感じるひとつです。

申し遅れましたが、今春の異動により博多工業高校より4月1日付で着任しました教頭の中山です。着任以来5カ月余りたちましたがこの間鮮烈に印象に残った出来事がいくつかあります。

そのひとつは、6月上旬の大同窓会です。900名を超える同窓生が参集された懇談・懇親会は実に盛大壮観でした。百有余年の歴史と伝統の重さと共に、卒業生の皆様の母校への強い誇りと愛着を感じました。日頃より福商会の母校への期待は大きいものがあることは感じていましたが改めて実感した次第です。

2番目は体育祭です。福翔の体育祭はどんなものだろうと強い関心を持っていましたが、まさに『熱意・力』の校訓が具現化された立派なものでした。1年生から3年生の生徒達の一体感をも感じました。

3番目に福翔生の生活態度です。どの生徒もよく挨拶ができていつも感心しています。挨拶は人間関係を円滑にする潤滑油です。卒業後の社会生活においても大切にしてほしい態度です。

「平成の福翔改革セカンドステージ」と呼んでいる改革の時です。子供たちを取り巻く社会環境の急激な変化により、平成12年度より総合学科へ改編しその成果が問われる時であり、またその充実、進化を図っていく時でもあります。推薦入試枠の拡大、コース制及びサテライト講座の導入等新しい試みもスタートしています。

『克己成功』を目標に福翔生の奮闘を期待するとともに、福商会の熱い期待に応えるべく微力を尽くしたいと思っております。よろしくお願いたします。

理事会開催

今年度第2回の理事会が5月12日午後6時から福商会館で開催されました。

理事50名(内委任状出席11名含む)出席のもと、山口毅議長から議事録署名人を指名した後、後藤幹生専務理事から3議案について説明があり、各議案とも全会一致で承認されました。

第三号議案 平成17年度事業報告及び収支決算報告の件

第二号議案 平成18年度事業計画案及び事業予算案の件

第三号議案 理事選任に関して報告事項

- 一 平成17年度分年会費別納入状況について
- 二 会報配布の見直しについて
- 三 全国合同同窓大会チケット販売について
- 四 演劇部全国大会出場応援カンパについて

第3回理事会を開催

7月21日、福商会館で第3回の理事会を開催しました。

今回の議題は2009年に創立110周年を迎えることから、記念事業としてこれまで各分野で活躍している同窓生を一冊の本にまとめ、後輩へ伝えていきたいとの考えから編集委員会を設置することになりました。会員の皆様にも各回生の理事から情報の提供をお願いすることになります。ご協力を宜しくお願いいたします。

他報告事項

- 一 収支状況報告(4月～6月)
- 二 第37回福商会ゴルフ大会の案内(ホームページで詳細をご覧ください)
- 三 年会費別納入状況(6月分まで)
- 四 さくら会バザー開催の案内(ホームページで詳細をご覧ください)

定時総会を開催

5月28日午後3時から福岡市中央区のセントラルホテルフクオカで定時総会が開かれました。昨年からの代議員による総会に変更し

ており、代議員総数182名のうち、150名委任状出席(含む)が出席しました。山口毅理事長の挨拶の後、議長に山口理事長、議事録署名人に村上廣治氏(45回生)、伊藤忠氏(63回生)を指名し、以下の議案について後藤幹生専務理事から説明があり、全会一致で承認されました。



▲清水校長の挨拶



▲山口理事長の挨拶

- 第一号議案 平成17年度事業報告並びに収支決算報告について**
- 第二号議案 平成18年度事業計画案並びに収支予算案について**
- 第三号議案 理事選任に関して**

- 新理事** 中牟田正生氏(43回生)
 山地 政美氏(50回生)
 橋垣 節雪氏(81回生)
退任 吉崎 数馬氏(43回生死去)
 播磨 弘一氏(50回生)



▲代議員の皆様

平成17年度分 年会費30%還元額一覧表 (単位:円)

卒業回生	17年度会費納入者数	30%還元額	卒業回生	17年度会費納入者数	30%還元額
21~30	33		70	32	19,200
31	15	9,000	71	15	9,000
32	18	10,800	72	15	9,000
33	17	10,200	73	14	8,400
34	10	6,000	74	7	
35	40	24,000	75	22	13,200
36	16	9,600	76	10	6,000
37	28	16,800	77	14	8,400
38	34	20,400	78	15	9,000
39	45	27,000	79	27	16,200
40	45	27,000	80	27	16,200
41	45	27,000	81	10	6,000
42	52	31,200	82	17	10,200
43	47	28,200	83	5	
44~45	77	46,200	84	5	
46~47	67	40,200	85	7	
48	33	19,800	86	11	
49	22	13,200	87	6	
50	71	42,600	88	6	
51	82	49,200	89	8	
52	96	57,600	90	5	
53	77	46,200	91	2	
54	81	48,600	92	2	
55	95	57,000	93	1	
56	92	55,200	94	3	
57	72	43,200	95	4	
58	87	52,200	96	4	
59	97	58,200	97	2	
60	68	40,800	98	1	
61	64	38,400	99	1	
62	60	36,000	100	1	
63	90	54,000	101	7	
64	52	31,200	102	19	
65	38	22,800	103	313	
66	34	20,400	併中1	0	0
67	47	28,200	別1~別15	15	
68	32	19,200	定1~定43	18	10,800
69	27	16,200	合計	2,029	1,325,400

(還元基準)：会計年度毎に10人以上の会費を納めている卒業回生
 ・原則として理事選出の回生若しくは学年同窓会責任者のいる回生

平成17年度決算報告書

収支計算書 ●平成17年4月1日~平成18年3月31日

■収入の部 単位:千円

科目	予算	合計	一般会計	奨学事業会計
事業収入	59,310	61,312	61,311	1
会費収入	8,330	8,498	8,498	0
寄付金収入	1,000	435	0	435
雑収入	0	31	23	8
固定資産売却収入	0	5,700	2,000	3,700
特定預金取崩収入	4,000	4,000	0	4,000
その他収入	0	-11,054	-11,054	0
繰入金収入	0	514	0	514
当期収入合計(A)	72,640	69,436	60,778	8,658
前期繰越収支差額	23,062	23,062	22,196	866
収入合計(B)	95,702	92,498	82,974	9,524

■支出の部 単位:千円

科目	予算	合計	一般会計	奨学事業会計
事業費	37,970	45,553	42,230	3,323
管理費	19,140	16,969	16,969	0
雑損失	0	368	368	0
固定資産取得支出	2,000	2,940	2,940	0
有価証券購入支出	0	3	1	2
その他支出	0	-2,816	-2,816	0
特定預金支出	6,000	6,000	6,000	0
繰入金支出	0	514	514	0
当期支出合計(C)	65,110	69,531	66,206	3,325
当期収支差額(A)-(C)	7,530	-95	-5,428	5,333
次期繰越収支差額(B)-(C)	30,592	22,967	16,768	6,199

貸借対照表 ●平成18年3月31日現在

■資産の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
流動資産	38,980	32,782	6,198
現金預金	37,058	30,860	6,198
貯蔵品	1,698	1,698	0
未収人金	224	224	0
固定資産	192,185	161,671	30,514
(基本財産)	51,422	21,422	30,000
土地	18,822	18,822	0
有価証券	11,100	2,600	8,500
定期預金	21,500	0	21,500
(その他固定資産)	140,763	140,249	514
建物	95,443	95,443	0
付属設備	7,646	7,646	0
什器備品	863	863	0
電話加入権	60	60	0
有価証券	535	21	514
建物建設積立金	6,000	6,000	0
預り敷金引当預金	30,216	30,216	0
資産合計	231,165	194,453	36,712

■負債の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
流動負債	18,955	18,955	0
未払金	105	105	0
前受金	14,085	14,085	0
預り金	126	126	0
未払消費税等	628	628	0
未払法人税等	4,011	4,011	0
固定負債	48,041	48,041	0
預り敷金	48,041	48,041	0
負債合計	66,996	66,996	0

■正味財産の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
正味財産	164,169	127,457	36,712
(うち基本財産)	51,422	21,422	30,000
(うち当期正味財産増減額)	3,970	6,335	-2,365
負債及び正味財産合計	231,165	194,453	36,712

正味財産増減計算書 ●平成17年4月1日～平成18年3月31日

■資産の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
I 増加原因の部			
1. 事業収入	61,311	61,311	0
2. 会費収入	8,498	8,498	0
3. 寄付金収入	435	0	435
4. 雑収入	31	23	8
5. 繰入金収入	514	0	514
合 計	70,789	69,832	957
II 減少原因の部			
1. 事業費	45,554	42,231	3,323
2. 管理費	16,969	16,969	0
3. 雑失費	368	368	0
4. 減価償却額	3,416	3,416	0
5. 寄付金支出	514	514	0
合 計	66,821	63,498	3,323
当期正味財産増減額	3,968	6,334	-2,366
前期繰越正味財産額	160,199	121,121	39,078
期末正味財産合計額	164,169	127,457	36,712

平成17年度監査報告

監 事 渡辺佳道(54)
清水龍治(63)

監 査 期 日 平成18年4月21日(金)午後2時
監 査 場 所 福岡市中央区大名壱丁目拾貳番五拾七号
福商会館において
監 査 対 象 現金出納帳
元 帳
普通預金通帳
(残高証明書付)
定期預金証書及び有価証券
領 取 書

監 査 結 果 上記監査対象を精査した結果
整然と整理が行われており、
収支とも誤りがなく正確で
あることを証明致します。

監事 渡辺佳道 印
同 清水龍治 印

平成18年度収支予算 ●平成18年4月1日～平成19年3月31日まで

■収入の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
事業収入	59,300	59,300	0
会費収入	8,520	8,520	0
寄付金収入	0	0	0
当期収入合計(A)	67,820	67,820	0
前期繰越収支差額	22,966	16,768	6,198
収入合計(B)	90,786	84,588	6,198

■支出の部 単位:千円

科 目	合 計	一般会計	奨学事業会計
事業費	49,100	45,100	4,000
管理費	19,440	19,440	0
固定資産取得支出	2,000	2,000	0
当期支出合計(C)	70,540	66,540	4,000
当期収支差額(A)-(C)	-2,720	1,280	-4,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	20,246	18,048	2,198

※各表すべて千円未満は四捨五入しています。

若い力を育て107年 福岡の発展に貢献する福岡高校。

この座談会は5月28日(日)西日本新聞朝刊「全国合同同窓大会」広告のときに掲載されました。

6年前、福岡商業高校から改称した福岡市立福岡高校(同市南区野多目)が創立107年を迎える。日本の経済界を代表する先輩たちを輩出し、現在も多くの卒業生が経済界で活躍する福岡高校。同校の同窓会組織「社団法人福商会」が開催する恒例の「全国合同同窓会」を前にして、福岡市教育長の植木とみ子氏、福商会理事長で山口油屋福太郎社長の山口毅氏、福岡高校校長の清水昭男氏に、同校発展の課題や展望、同窓会活動の今後など話し合ってもらった。

画期的なサテライト講座

—古い歴史と伝統を誇る福岡高校の魅力はどこにあるとお感じですか。

植木 福岡市に四つある市立高校は、いずれも自分が生まれ育った郷土を愛するための教育に力を入れています。その中でも福岡高校は、百有余年の歴史と伝統を持ち、著名な経済人を輩出してきたことでも分かるように、独立自尊の経済人を育てていることだと思っています。また、歴史のある学校だけに同窓会の方々の結束が強く、学校教育のいろんな面で積極的な支援活動をしていたが、力強く思っています。

「自らの道を切り拓く人材を」



福岡市教育長
植木 とみ子氏

山口 昔も今も、福岡高校は多くの経済人を輩出しています。これまでも世界で活躍された先輩たちもおられますが、これからは地元経済界だけでなくアジアに近いという地の利を生かしてアジアに通用する人材が、一人でも多く育つことを期待しています。そのためには生徒たち一人ひとりが自分の夢を実現するために、基礎学力をしっかりと養うことが重要です。

そのために同窓会の母校支援活動の一つとして、奨学金支給と共に、サテライト講座の導入支援があります。現在、学校に二百台あるパソコンを使って、高校一年レベルから東大受験レベルまで多数の講座の中から、各自の学力や計画に応じて自由に学習できるシステムです。これは同窓会と父母教師会、学校と三者の協力によって実現したもので、全国的にも珍しい画期的な取り組みだと思っています。

清水 大手予備校と提携して衛星放送講座を取り込んだ学習システムで、原則的

「生徒のやる気を起こす指導」



福岡高校校長
清水 昭男氏

には土、日曜日も自分の好きな時間に自由に使用できます。勉強する意欲のある生徒が自分のペースで学べるのがメリットですね。このため、生徒にやる気を起こさせる指導力が、私たち教師の側に求められてきますし、生徒自身がやりたいことをきちんと見つけられる仕組みをつくってあげることも大切な役目です。今年度から、入学してきた生徒の目的意識をより明確にさせるために、一年次を「進学選択コース」と「就職選択コース」に分け、進学希望の中でも特に国公立大学などを希望する生徒には「特別進学クラス」を設けました。そして二年次以降は各自の進路に応じて国公立理系コースなど七コースを設けました。また大学入試の補習授業も強化しています。

—大学進学に重点を置くということですが。

清水 山口理事長は「日ごろから「就職するなら大学に通る力をつけてから」と言われていますが、まさにその通りで、学力や能力が身に付いていない者にとって社会は非常に厳しい。これまでの福岡高校は、進路によって生徒に自由に科目を選ばせていました。しかし将来のことを深く考えないで、自分が好きな科目ばかりを選ぶなど、学習が安易に流れる弊害がありました。今年度からは学校がコースごとに必要なカリキュラムを設定していますから、苦手な科目にもトライしなければなりません。厳しさの中で学べば、学んだことを自分のものできるのです。そういう教育を実践し



ていきます。これまで二年生からだった簿記などの資格受験も、一年から可能です。

植木 かつては高校時代にやりたいことが見つけれなかったもので、とりあえず大学に行くという時代もありましたが、今は少し事情が違ってきました。中・高校生の時から実社会を疑似体験しながら学ぶというプログラムも重要視されています。以前福岡高校には、優秀な成績で大学に合格したのに「家族の面倒をみたいから」と、大学に行かずに就職した女子生徒がいたことを覚えています。奨学金も出るはずだったと聞きましたが…。

山口 大学に入る学力がありながら、あえて大学を蹴って実社会で働くという若者が増えていけば、どの企業も高卒者を喜んで採用してくれるでしょう。高校で本当の力をつけた生徒ならば、実社会でぐんぐん力を伸ばせるでしょう。

演劇部が全国大会へ

一部活動も教育の重要な要素ですが、

清水 かつて「福商」といえばサッカーや剣道など全国大会の常連校で、特に剣道部は玉竜旗大会で九回優勝という今でも破られていない偉業を達成しています。それに比較して現状は厳しい状況ですが、部活のレベルアップも大きな課題として積極的に取り組んでいます。

山口 部活が強くなるには魅力ある指導者が必要です。信頼できる先生のもとには、いい選手が集まってくる。まず魅力ある指導者を養成されることを学校にお願いします。

「基礎学力を養うことが必要」



社団法人福商会理事長
山口 毅氏

植木 部活は学校を活性化する有効なツールで、部活が活発なところは「学校力」が出てきます。福岡高校の場合、「演劇部」が九州大会1位になり、「全国大会出場」など徐々にその効果が現れてきています。個人競技では、エアロビクスの世界選手権1位とかスケートのシヨートトラックで世界ジュニア出場など、キラリと光る個性的な人材が出てきていますね。

山口 いろんなタイプと個性のある人材を育ててほしい。商業高校の時代でも、全国的に著名な画家や作家、俳優など、経済人ではない先輩たちを数多く輩出しました。こういう人材が出てくるのも「福商翔」の良さ。その伝統は今も引き継がれています。

夢をかなえる力を

福岡高校が今後、どんな学校になってほしいと思いますか。

植木 社会に出て、自分の道は自分で切り拓いていく力を持った人材を数多く育ててほしいですね。福岡高校は福岡商業の時代から多くのアントレプレナー（起業家）



サテライト講座による補習授業を受ける生徒

を育ててきましたが、これからも世界のどこに行っても活躍できる、強い意志を持つ人間になってくれることを期待しています。

山口 「潮湧き立つ玄海の／空に輝く商星を」で始まる福岡校の校歌を忘れないでほしい。在学中だけでなく卒業してからも、常に歌詞を思い浮かべ、自分の指針にしてもらいたい。バイタリティーのある曲であり、口ずさめば、人生の節々において勇気づけられるはずです。

清水 自分で自分の夢をかなえる力をつけ、自己実現と社会貢献が一致するような生徒を育てていきたい。そのためには、私たち教師が、生徒に信頼されるように努力していきたいと思っています。

高崎 久(22回生) 大先輩の 白寿(99歳)を祝う

大正14年に卒業し、元大分大学福岡大学教授の高崎大先輩が白寿を迎え、9月には目出度く百歳を迎えらるることと6月13日、山口理事長、後藤専務理事らは入居されている春秋園を訪れ、白寿のお祝いとしてお祝いを贈りました。崎崎先輩はこのほかお元気で「母校の校名が変わったことが寂しい」と当時を思い出しながら語ってくれました。これからお元気で過ごされますよう心からお祈りいたします。



高崎 久氏と山口理事長

平成18年度・第一回 三者懇談会を開催



「サテライト講座開講の状況など 意見交換」

本年度に入って第一回の三者懇談会を7月12日午後6時から福翔高校で開催しました。学校からは清水昭男校長他4名、父母教師会から末永達也会長他4名、福商会から山口毅理事長他5名が出席し意見交換を行いました。

意見交換内容

- 1、清水校長より平成18年度の学校経営方針について説明があり、今年の重点目標として
 - ①生徒の進路保障に力を注ぐ
 - ②生徒自身が主体的に学習を行う授業づくりに努める
 - ③内外に開かれた学校づくりを推進する
- の3点を挙げ、現在進めている「福翔改革」の中身について中学校や市民・保護者へ積極的に情報発信を行うと決意を述べられました。

2、サテライト講座導入状況について

横尾進路指導主事から5月に開講したサテライト講座の受講状況について

意見交換

「受講を希望する生徒が増えており、夏休み補習の受講は100台あるパソコンの利用率が100%であり順調な滑り出しをしている」との報告がありました。

3、部活動の加入状況について

宇土教頭より部活動の加入状況の推移について「体育部はやや増加傾向(加入率39.1%)にあり、バスケットボール、サッカーなどの入部者が増えている。文化部は14.7%と長期低落傾向にある。全体の加入率は53.8%であるが進学率の高い学校ほど部活の加入率は高く、もっと高めよう努力したい」と説明がありました。



福翔高校野球部 激励会を開く

母校野球部の激励会が6月24日、天神テラホールで父母会、福商会、OB会及び野球部員ら総勢100名が集い盛大に開催されました。激励会は父母会会長の挨拶に始まり、福商会から高木副理事長、野球部OB会の秋丸会長、母校からは宇土教頭より激励の挨拶がありました。乾杯の後、中山監督から夏の甲子園予選に向け「1回でも多く試合が出来るよう一球入魂の精神で、最後まであきらめないよう全力でプレーします」と力強く決意を語ってくれました。また部員を代表して高木キャプテンからは「日頃から福翔野球部を応援して下さる皆様に感謝の気持ちをして勝利」という形に変えて恩返しをしたい」と抱負を述べていました。最後は全員による校歌斉唱、応援歌、博多手一本で会を終えました。

野球部OB会幹事
栗原 功充(78回生)



誓いを新たに燃える福翔球児

※今年の夏の甲子園予選は昨年と同様3回戦まで勝ち進みましたが「興大会出場」まであと一歩及ばず、惜しくも敗退しました。同窓生の皆様のご応援ありがとうございました。

母校へ ティンパニーを寄贈

5月8日、山口毅理事長、後藤幹生専務理事らは母校の吹奏楽部を訪れ、打楽器のティンパニー一式を贈呈しました。今春の3月に福商会員へのチャリティーコンサートを開いた際、募金活動を行い、その募金と福商会からの支援により実現したものです。

顧問の向井圭子先生から「高価な楽器を贈っていただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。また部長の高倉なつきさんからは「楽器が古くなって使えなくなっていました。新しい楽器を使って部活動に励み頑張ります」とのお礼の言葉がありました。

吹奏楽部のこれからの活躍をお祈りいたします。



目録を受け取る向井顧問

新・転任の先生からの一言



山田 里士(事務長) **New Face**

福岡市水道サービス公社早良営業所から今年4月の人事異動により事務長として着任しました。早いもので5カ月が過ぎようとしていますが、私はいまだに学校全体の仕組みが理解できません。なぜかと言いますと決裁文書も数多く、また、学校施設全体の維持管理方法が複雑であることなど、市役所生活37年間で経験したことがないことはばかりでバタバタしています。一日も早く覚え学校事務全般を把握していきたくて思っています。伝統あるこの福翔高校が今後ますます発展していくためにも、微力ではありますが精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



荒尾 直昭(事務吏員) **New Face**

はじめまして。この春異動で福岡市環境局南部工場から参りました。最近になって少しずつ慣れてきましたが、初めての学校勤務で今までにない経験をしています。放課後の部活動などを見ていると高校時代が懐かしくなりました。生徒の皆さんが生き生きと学校生活が送れますよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



三代 直也(技術吏員) **New Face**

はじめまして。今年の春から新規採用で来ました学校用務員の三代直也です。初めての勤務先が伝統ある福翔高校で緊張しています。今はようやく福翔高校の雰囲気にも慣れて、落ちついて仕事ができるようになりました。しかし、仕事の量が多く、覚えていく内容もたくさんあります。その中でも、生徒が楽しく安全に学校生活が送れるような環境をつくること、また少しでも生徒の心の支えになれたらと思っています。一生懸命がんばっていきますので、よろしくお願いいたします。



大塚 美穂(英語科) **New Face**

こんにちは。この春、福岡西陵高校から赴任してきました。長い間、西陵に勤め、初めての異動で戸惑いも多かったのですが、福翔の雰囲気にも慣れてきました。私の母の母校ということもあり、早くも福翔の校風や生徒たちに愛着を持ちはじめています。この新しい環境で、新たな気持ちで、日々頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



岸原 貞弘(商業科) **New Face**

はじめまして。4月より研修人事で県立福岡講倫館高校より参りました。総合学科に勤務するのは初めてで、1年生の担任も仰せつかり生徒とともに新鮮な気持ちで毎日を過ごさせて頂いております。部活動や学校行事など生徒が主体的に活動できるように支援・指導をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



兼松 建一郎(地歴科) **New Face**

はじめまして。この春から新規採用教員として勤務させていただきます。教科は地理を担当しています。福翔高校は、私の弟の母校で、また周囲にも福翔出身の友人・知人が多くいて、何か縁があるなと感じています。伝統ある福翔高校の更なる発展に少しでも貢献できるよう、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



木村 太輔(英語科) **New Face**

福商会の皆さま、はじめまして。本年度新規採用になりましたキムラダイスケと申します。2000年1月より5年間、米国中西部にあるオクラホマ州にて人生の勉強をしていました。福翔高校のさらなる発展、また生徒の成長のために私に何ができるか、まだ手探りをしている毎日です。黒澤明監督の「生きる」が好きです。



前田 知子(国語科) **New Face**

この春福岡女子商業高校から参りました。久しぶりの共学の学校で、少々緊張感みでしたが、ようやく自分のクラスに男子がいることにも慣れてきました。福翔は噂に違わず、学校行事や部活動が盛んで、活気に満ち溢れています。この伝統ある福翔高校で生徒たちがイキイキと生活し、進路を実現できるように力を尽くしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

体育部・文化部の主な成績

平成18年4月～8月

体育部

水泳部

【福岡県高等学校水泳競技選手権大会】

小島 美恵子 800m自由形 6位

川崎 仁雅 2000m自由形 4位

川崎 仁雅 1000m自由形 3位

谷口 実雅子 500m自由形 4位

下大迫 美恵 1000m背泳ぎ 5位

下大迫 小柳谷口・小島 女子400m×ドリリー 3位

小島 下大迫・小柳谷口 女子400mフリーリレー 3位

【九州高等学校水泳競技大会】

谷口 実雅子 女子500m自由形 3位

小島 下大迫・小柳谷口 女子400mフリーリレー 5位

【全国高等学校総合体育大会】

谷口 実雅子 女子500m自由形予選敗退

小島 下大迫・小柳谷口 女子400mフリーリレー 予選敗退

【陸上部】

【陸上競技大会北九州予選】

山部 倫太郎 走り幅跳び 5位

田口 明美 400mハードル 4位

谷 美枝 走り高跳び 優勝

【全国高等学校総合体育大会】

山部 倫太郎 走り幅跳び 予選敗退

田口 明美 400mハードル 予選敗退

谷 美枝 走り高跳び 予選敗退

文化部

美術部

【九州高文連絵画部門】

中山 美穂 優秀賞

【九州高文連書道部門】

庄司 恵恋 優秀賞

— 全国高文祭出場 —

放送部

【NHK杯福岡県予選】

●アナウンス部門

加古 大地 4位

●研究発表部門 2位

西口 奈来 山本 麻耶

濱崎 あかね 貝屋 めぐみ

【NHK杯全国放送コンテストアナウンス部門】

加古 大地 準決勝進出

【全国高等学校放送文化部アナウンス部門】

加古 大地 文化連盟受賞

演劇部

【九州高等学校演劇研究大会】

最優秀賞・文部科学大臣奨励賞受賞
創作脚本賞受賞

【全国高等学校演劇大会】

優良賞受賞



第56回福商会全国合同同窓大会を終えて……

早いもので、6月4日ホテルニューオータニ博多で行われた第56回福商会全国合同同窓大会から3カ月が過ぎようとしております。

おかげ様で卒業生の皆様、当番幹事81回生約100名と、ご来賓、ご招待のお客様を含め900名を超える盛会となりました。私達81回生が大会の準備に着手するに当たり、当番幹事を経験された先輩達からの働きかけで、福商会館で話し合いを重ね、取り組んでおられる様子を、また第55回同窓大会に参加し、当番幹事として頑張っておられる姿を間近に見て、福商会の絆の深さを教えていただいたことなど、惜しみないアドバイスと励ましの言葉をかけて頂きました。

そして、いよいよ私達81回生へと当番幹事が引き継がれ、平成18年6月4日に決定した全国合同同窓大会の実行委員として組織を確立する事から始まりました。

平成18年が明け、何から始めていいのかわからないままに走り出し、戸惑う場面もあり、少しのんびりしていた私達に、ここでまた、先輩達や福商会関係者の方から応援を送って頂き、再スタートした次第です。「まだ半年もある。いや、もうあと半年しかない」と毎週土曜夜を定例会と称し、福商会館での話し合いも、月日が経つにつれ焦りへと変わっていきます。

最初は小人数でしたが、定例会を重ねる毎に同級生に声をかけ、そして輪が広がり、プログラム記念誌の賛助広告や式典・懇親

会の準備を進める事ができました。

同窓大会当日はお天気も良く、式典・懇親会が事故なく無事に終える事ができるよう……と一丸となり、皆で会場やプログラム・記念品・備品などを何度も確認しあつた後、真っ白なピシッと糊の効いた法被を羽織り、緊張して皆様をお迎えした事を思い出します。

式典も無事に終了したあと懇親会では、米寿をお迎えになった大先輩が見事なマジックショーで盛り上げて頂きました。悪戦苦闘しながら作り、上映したスライドショーも懐かしい映像で皆様に楽しんで頂けたのではないかと思います。

この同窓大会の盛会は、賛助広告に快くご協力して頂いた企業様、また卒業生の先輩や後輩の皆様はもちろん、福商会関係者・大会開催に関わる業者の方々、多くのご支援があったからだと……大変だったけれど、一生に一度しかできないありがたい経験であつたと思っております。この紙面をお借りしまして81回生実行委員一同心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、81回生の皆さんに一言。卒業して24年ぶりの再会で、懐かしかった同級生の皆さん。同窓大会当日まで、お疲れ様でした。仕事が忙しいのにスケジュールを調整してくれましたね。また、お子さんの運動会応援が終わった後に駆けつけてくれましたね。皆さんへのこれ以上の言葉は見つかりません。本当にほんとうにありがとうございます。

岩崎 小百合(81回生)

福商バスケット部の思い出

青木 進 (66回生)

Playback

青春 プレイバック 6

私が福商に入学した昭和40年4月は、野多目校舎で体育館も新しく、41年には部室も完成し練習環境としては申し分ない状況にあった。当時は部員も1年から3年までわずか12名で部活の成績は芳しくなく、夏の合宿では、47回生高野先輩・48回生富永先輩他OB諸氏の数が部員より勝っており、地獄の特訓の日々で逃げ出したいほどの厳しさだった。今になって、精神面・肉体面で大いに役立っている。バスケット部は屋外での練習(不入道・油山方面へランニング)も多く、駅伝チームと間違われるほどの持久力を鍛えられた記憶がある。

昭和43年高校卒業と同時に三井銀行(現三井住友銀行)に入社し実業団チームで35歳まで現役でプレーした。昭和62年から平成11年までは会社のバスケット部の監督・総監督を引き受け、平成7年から5年連続で全日本実業団バスケットボール選手権に関東代表で出場できたのも福商での経験によるところが大きいと自負している。

銀行時代は、関西・関東での生活が長かったが、平成7年に鳥取県で行われた全国高校総体に母校福商バスケット部が出場した際に東京から夫婦で応援に駆けつけた。結果は初出場で準優勝の好成績を収め、その試合振りには非常に感動した。福商バスケット部の歴史に輝かしい一ページを飾ったが、試合を見たこと

は生涯の思い出としていまだに自分の財産になっている。当時のレギュラー選手が現在、スーパーリーグで94回生の篠原(東芝・藤本三三菱電機)関東実業団で上田(三井住友銀行)の3名が活躍してくれている。彼らが東京の大学在学中から代々木体育館にでかけ応援していた。その後、母校福商は平成11年度にも再度全国高校総体に出場を果たしベスト16に輝いている。全国的にもレベルが高い福岡県高校バスケット界において、20年以上にわたり公立高校の雄としての地位を立派に確立している。福翔バスケット部の伝統と実績に大いに敬意を表するものである。

平成12年の福商創立百周年の節目の年に、故郷福商に戻って現職場で勤務しているが、これも福商との絆を強く感じている。



■ 昭和42年頃のバスケットボール部



■ 昭和47年頃のバスケット部OBの皆さん

翌年、福岡市バスケットボール協会の山口会長(52回生)の推薦を受け、平成13年から市協会の常任理事として微力ながら協会の仕事をさせてもらっている。実績・経験とも豊富な若手OB諸君の市バスケットボール協会の役員への参画と、福岡市社会人リーグ「シニア」の部への参加も大いに期待している。また、毎年、秋に開催されている福岡市内のOB(35歳以上)による壮年バスケットの大会にはOB会田中会長(58回生)とともに参加し、いい汗をかいている。45歳以上の出場選手が少ないので、対象のOBには是非とも積極的に参加して欲しいと思っている。

平成19年はバスケットボール部の創部80周年にあたる。母校福翔高校の更なる発展とバスケット部の全国高校総体へ再出場を期待して、現役とOB会のオルガナイザー的な活動も今後やってゆきたい。

「昭和25年の夏」教師1年生

元福岡商業高校教諭 出利葉 博(40回生)
 (昭和25年4月～昭和60年3月在職)

昭和25年4月から英語科の教師として母校に勤めることになり、始業式で有田校長に紹介して頂いた。生徒は3年生が3クラス、2年生が5クラスで極めて少人数であつたため、今でもはつきりと覚えていた。私のモットーは小学校に上がった時に習った「よく学び、よく遊べ」である。最初の夏休み「大いに遊ぶぞ」と内心思っていた矢先、3年生の山岳部長の斧田藤一君(49回生)が、阿蘇・久住の縦走を計画していると知らせてきた。職員は野口山岳部顧問と他に4名の由。皆、初めての登山とのこと。私は一度だが久住登山の経験があつたので、有田校長からは非同行的ように求められて参加することにした。生徒20数名と職員、総勢27名と記憶している。

夜行列車で発ち、翌朝、坊中駅(現阿蘇駅)に到着。直ぐに登り始め、中岳火口を巡り、夕方仙酔峡の方へ下りて、その日はとあるお宮のお堂に一泊した。二日目は列車で竹田へ、岡城址に向かう。竹田から久住の町へは一本道の登りでバスを利用。到着後、しばらく歩いて種番場の近くでテントを張った。

翌朝、天候がはつきりしないので、南登山口からの久住登山を諦め、瀬本へ向かう途中、阿蘇まで続く素晴らしい緑のなだら

かな高原の景色を楽しんだ。敷のなかを難儀して久住山へ続く尾根へ出たところで、夕立に会った。山の雨はまるで、ひょうか何かが降るような大粒の雨が大きな音をたてて襲ってきた。夏の軽装で、ずぶ濡れになりながら山へ向かったが、久住山頂を雨のなかにはんやり見ながら、登頂を断念せざるを得なかった。ところが雨の中で地図を開くことも出来ず、また前にも後にも動きがとれず、一時はどうなることかと不安がよぎったが、3年生の斧田君と2年生の安恒君にあたりを探索させ、漸く法華院温泉の道標を発見して戻ってきた。私は道標を抱きかかえんばかりに「ほつ」とし

たことを今でもはつきりと思い出すことができる。翌日は素晴らしい天気で、飯田高原を歩き、釜ノ口温泉で疲れを癒したのは楽しい思い出である。

山から帰って翌々日は、京都で行われた中根式速記の高校全国大会に出場の5人の生徒を引率した。大会では中村勝人(49回生)君が個人優勝し、中村、太田了(49回生)、中村武人(50回生)の三君は団体優勝に輝いた。先輩たちに続いて、福商速記部の名を全国に高めることができたのは幸せであつた。この大会の参加者の一人でもあつた稲永篤(49回生)君は、後に山に惹かれて「福岡山の会」のヒマラヤ遠征隊の隊長になり、山の会の理事長も務めた。また、山岳部長の斧田君は早稲田大学を卒業して県立高校の国語教師になった。

この拙文は50数年前、私の教師1年生の夏の思い出である。記憶違いがあればお許し願いたい。

出利葉先生の思い出

私は出利葉先生に三年間も、お世話になりました。というより、数知れずのご迷惑をかけ、その度に面倒を見ていただきました。しかし教わった英語も助言もきれいにみんな忘れてしまいました。ただ一つ出利葉先生が3年間、我々に念仏のように繰り返して唱えられた「返事：はい」は、私だけではなく皆の脳裏のどこかに染み付いた教えでした。

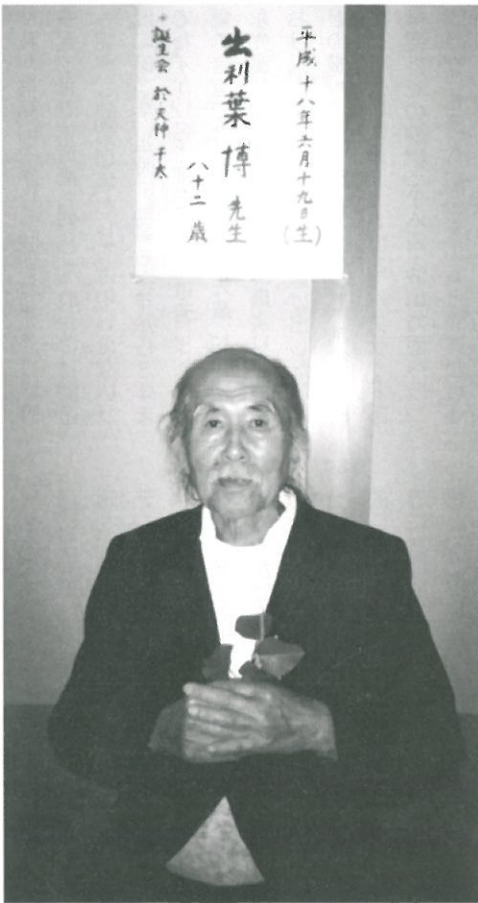
その頃の私たちは正直、あまりの小学生並みの言葉に素直には聞けませんでしたが、その後、社会に出て色々な場面では「はい」と自然に言える自分がいました。

今年還暦を迎えるトシになつて思い起こせば、この返事をするのが、私の生涯に与えてくれた恩恵は多大なものでした。「はい」と返事して間違つた事はできませんでした。

今私が人の前に立つて言葉が言えるようになったのも、この「はい」から始まつたように思います。

先生いつまでも元気で今の若者たちにもご教授くださるようお願いいたします。

伊藤 忠(63回生)



京都大学名誉教授 石橋武彦先輩(39回生)訪問記

「異色のコース」商業から
農学の道へ

7月5日、梅雨空のもと、会報編集部の川瀧、安河内の二人で熊本市郊外の石橋先輩宅を訪問した。家族は長男の方が横浜、長女の方はアメリカで結婚されており、熊本には奥様とお二人でお過ごしであった。

京都大学を定年で退職後、九州東海大学で7年間教えられ、その後もテニス仲間の引き留めもあつて、81歳の今日まで京都の家に戻らず、熊本での生活を続けられています。まだまだお元気で、週3日はテニスを楽しんでおられるそうです。

先輩は、附属小学校から兄の啓さん(36回生、山口高商→三井鉱山)の勧めもあつて、福商を受験。小学校の先生は「福商は修猷館や福岡中学よりも競争率が高いので、受かるのは可成り難しいよ」と言われたが幸い合格。しかし、出欠簿、教室での机の配置、朝礼での整列などすべて成績順と決まつており、それによると下位での合格であつたとのこと。入試の作文は毛筆書きであつた。その当時のクラブ活動はラクビー部が全国大会に出場し、剣道では小西雄一郎氏(38回生)が武道大会で個人優勝。速記部は全国大会で優勝するなど活発であつたことや、唐津往復の80キロ行軍の思い出、謡曲を教科として習われたことなど、懐かしそつに話して頂いた。

昭和16年12月8日に太平洋戦争が始まり、学校は3カ月繰り上げ卒業になつた。卒業後の進路について迷われたが、化学の八木先生の助言で、一年間の受験勉強を経て福岡市立の福岡拓殖専門学校に進まれた。ここを卒業時に西島先生(福商24回生)から九大農学部への

の進学を勧められたのがきっかけで異色のコースがスタートしたと話され、「農学への道を拓いて頂いた西島先生への恩義は生涯忘れることはできません」と当時を思い出しながら語られた。

九大で3年間の学部と5年間の大学院で畜産学を学び、研究を深められた。

その後、農学博士号を受け、兵庫農科大学、神戸大学で農学部教授を歴任され、昭和49年に京都大学農学部教授に就任された。63年に同大学を定年退職されるまで、構造と機能を関連づけて家畜体のはたらきを学ぶ、新しい内容の解剖学である「家畜生体機構学」の体系づくり尽力され、その講義指針となる家畜生体機構学の書を本邦

ではじめて出版された。

この間、アメリカ合衆国のミズーリ大学、シンシナティ大学で各1年間共同研究されたり、日本畜産学会の理事、畜産学教育協議会の会長などを務められた。これらの業績に対して、平成16年春に「瑞宝中級章」を受章された。



先輩は同級生の中では、異色のコースを歩かれたが、同級の39回生には渡辺与三郎氏(紙与産業会長)、四島司氏(元福岡シティ銀行頭取)、井上祐司氏(元九大法学部長)、吉村喜好氏(元長崎大学教授)、田中範隆氏(元筑紫野市長、石村善助氏(元東京都立大学教授)など優れた人材が多いと話された。

京都大学農学部の牧場長を兼務されていた時に、福商の金子金一先生が見えて、牧場を案内されたこともあるそうです。先輩は福商の学友会誌に同級の石村さんが書かれていた「私の勉強法」の中の「憤せざれば啓せず」(注と、人間万事、塞翁が馬)を座右の銘とされています。蘊蓄あふれるお話にあつという間の2時間でした。帰り

には奥様から土産まで頂戴し、温かい見送りを受け、勇気をもらつて帰路についた。「人生は良き師との出会いが大きい」と車を走らせながら語りあつた。後日、先輩から次のような言葉を母校の生徒に贈つて頂いた。

『在校中に、物事の良し悪しを的確に判断できる健全な思想を身に付けることが大切です。多くの知識を吸収して知能を磨くと共に、スポーツなどで体を鍛え、社会の荒波に耐えうる気力と体力を養うことです。折角、伝統ある名門校に入学したのですから努力を惜しまず、学業だけでなく、好きなサークルにも参加し、充実した学生生活を送りたいものです。広い視野をもち、希望に燃えて学窓を巣立つて下さい』

(注)「憤」は、理解できなくて悩み苦しんでいらだつこと。「啓」は教え導くこと。本人が理解しようと努力してうまくいかなくて、いらだつくらいにならないと、教え導いてやることをしないとということ。学習者の自発的意欲を重んじる孔子の教育法をいつた言葉。(成語林から)

安河内 眞彦(52回生)

写真は元氣なお姿の石橋武彦先輩と夫人

同舟往來

森山 昌直君(51回生)



福岡市中央区清川と博多区住吉に流れる那珂川に架かる柳橋の住吉側に一際目立つビルがある。このビルが「株式会社クルス」が入っているビルである。(株)クルスは創始者森山留次郎氏が28歳の時、昭和2年に創業した森山留次郎商店である。

当時は小間物を中心に商売していたが戦後は婦人物に切り替えた。昭和33年に「株式会社森山」に改称。平成元年に(株)クルスに改称現在に至っている。この(株)クルスの2代目社長が51回生の森山昌直君である。弱冠38歳で社長に就任し、現在従業員70人の先頭に立つて九州一円と山口の一部のデパートや専門店にハンドバック、婦人衣料、インテリア雑貨等を卸している。

福岡時代は野球部に入って体を鍛えたのでゴルフが上手である。同期生20人前後でゴルフ会を年5回やっているがいつもベストスコアで彼の右に出る者いない。因みにHD4である。また福岡会の評議委員、理事を35年務め福岡会発展に貢献した事は皆が認めることである。

彼の温厚な人柄と卓越した指導力は従業員の信頼が厚く(株)クルスの前途は洋々たるものがある。

磯山嘉郎(51回生)

高3で、長崎商業から福岡へ転校。卒業一年後に肺結核の手術で九死に一生を得て、感謝を学ぶ。26歳で三人の社員と大和商会(トコフイ、カップ、盾等賞杯記念品製造販売会社)を設立。

今林 照男 君(52回生)



高3で、長崎商業から福岡へ転校。卒業一年後に肺結核の手術で九死に一生を得て、感謝を学ぶ。26歳で三人の社員と大和商会(トコフイ、カップ、盾等賞杯記念品製造販売会社)を設立。

ボウリングブーム、ゴルフブームで各地に支店、営業所、工場を持ち、大和グループをまとめ。最盛時には総売り上げ55億円を記録した。これも色々の人との出会いや助けと感謝を忘れない。

福岡会東京支部世話人として尽力し、母校にも31年間、奨学金を送り続けてくれた。また、福岡会館階段の側壁に掲示してある立派な銅板の会館建設協力者一覧表は彼の寄贈によるものである。長崎海星中学時代の友人である国会議員 西岡武夫氏、ホテル・オークラ元支配人、砂田三樹夫氏、芸能界の美輪明弘氏などは今でも親交が深い。

中島 木太君(56回生)



昭和32年福岡卒業後、地元の自転車メーカーに就職。昭和51年大阪堺の自転車メーカーに移り営業等で全国を回る事が多くてご当地そばを食べているうちにそば好きに。定年退職後、たまたま目にした「コミュニティー誌」でそば打ち同好会の存在を知り入会した。最初はそば好きが集まり、そばを肴に酒を飲むのが目的だった。その内ほとんどはまって全趣協認定二段になった。

大阪の泉北ニュータウンにあるNPO法人「泉北そば打ち普及の会」理事長としてそば打ちを普及し、地域の「コミュニティー」と健康づくりに役立つと、より高い目的意識をもって唯一無二の「泉北そば」の確立を目指し日々奮闘している。時々来福して我々同級生にそばを振るまい、酒を飲む今日この頃です。

森 彬君(68回生)



大手メーカー(食品部門)に38年間勤務後、ボーズ(BOSE)感性リサーチ(株)に勤務。メンタルヘルスケア・アドバイザーとして「心の健康と音楽」をテーマに、官公庁・教育機関・医療福祉施設をはじめ、様々な企業・団体に講演会や講師を務め、音楽を実用的に活用して、一人ひとりが、豊かな心を養い、明るい家庭や職場・明るく希望のある社会を作りましょう!と、「生涯学習&生涯青春」を目指しています。楽学会本部・事務局長、NPO「真生活創造」推進委員。

1 子育て支援/①胎教音楽・良い環境づくりは胎教からスタート!②情操教育と音楽、三つ子の魂百まで!と言われるように、情操教育に音楽は大変重要です。
2 メンタルヘルス/①社会人になったら、ストレスコントロールが人生を左右します。「ストレスが溜まると、トラブルが発生」その解決法
②定年退職後は：人生80年時代!ボケずに健康で生きろ!感動ある人生にチャレンジしましょう!
3 接遇マナー改善(医療福祉施設必修)/①環境で利用者をもてなす。音色と光と匂い!②生きるとは「感動」すること。(利用者いかに感動を与えられるか!感動が「生きるエネルギー」に変わる) 川井 静樹(58回生)

伊藤 忠君(63回生)



生粋の博多っ子である。昭和40年に母校を卒業後、國學院大学へ進学し高校、大学を通し剣道一筋の青春を送った。

トウ洋酒店を継いだが父上の勝氏(31回生)と衝突し、海外へ新天地を求めメキシコへ渡り現地商社に勤務。3年間の滞在後、勤当も解け中洲交番前の洋酒店の店主として頑張っている。また、地域の振興にも積極的に取り組んでおり、博多祇園山笠では中洲流れの役員を務めたり、(財)暴追センター相談委員、福岡県少年指導委員、柳田神社

の神職として長谷川法世の博多名士漫画「こりやたまがった」にも登場するなど地域に溶け込んだ活動を行っている。福岡会の理事も務め、現在では代議員として協力してもらっている。 川瀬 哲雄(63回生)

古賀 正文君(69回生)



昭和46年に卒業。在学中は野球部で活躍。卒業後、信用組合一筋に勤務。近年まで支店長をされ近々定年を迎えられると聞いています。

古賀君は積極的に開放的な性格からわが子が小学校へ入ればPTA会長、中学へ行けばそのPTA会長、下の子が小学校へ入学すればまた会長をと、進んでやってきました。そんなことから母校の福岡が、福岡への校名変更時にも福岡市PTA協議会の一員として深くかかわってました。決断の早さとその体に秘めた、周りに貢献する情熱はまだまた衰えないものと思います。現在は仕事と69回生同級生でつくる和太鼓の辰巳太鼓で牽引役として頑張っています。これからも地域、福岡会等々、公私ともの活躍を祈念しています。 石川 圭祐(69回生)

赤木 秀雄君(79回生)



在学中は剣道部に所属。玉薙旗では五人抜きも達成。大学は、国士館大学へ進学し、剣道部で活躍した。高校時代はバイク事故を起こして、偶然通りかか

った安河内先生に命を助けてもらったり、その他、悪行三昧のエピソードを多数持ち合わせる。そんな彼も大学卒業後、福岡県警本部刑事として活躍中。仕事の合間をみて福岡剣道部や、地域の少年少女剣士の指導を熱心におこなっている。 跡部 宗教(79回生)

第38回箱崎福商会

米曹会から商志会を経て箱崎福商会が出来るまでどれくらい歳の月であったか定かではない。箱崎福商会が設立されてからは今年で38年を数える。去る6月10日(日)第38回の総会・懇親会が箱崎宮近くの千鳥寿司本店(44回生梅津春一氏)にて開催された。

本日より高木副理事長、後藤専務理事を迎え、来賓の長原謙、小石原市議を含め、同窓約30名が同舟に結集した。



挨拶、会務報告、記念撮影のあとは、盃片手に大いに旧交を温めた。青春時代にかえり、校歌、応援歌を高らかに歌い、和気あいあいの中、盛会裡に終了した。

最近同窓各位の中に、体調不良の方が増えた感じもするので、健康管理には十分留意して欲しい。福商健児のいつそうのご活躍を祈る。吉積正弘(53回生)

箱崎支部から
奨学育英基金へ寄付

6月10日、箱崎支部会が開催され、その席上奨学育英基金にと金一封の寄付がありました。支部の皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

61回生「心のゆとりをつくる旅」

1周年記念例会開催

2005年5月発足会、同年9月は「心のゆとりをつくる旅」で平戸温泉に一泊二日の修学旅行。2006年1月は「心のゆとりをつくる旅」で漫才での笑いの新年会。そして5月20日に、心のゆとりをつくる会「初誕生日会」の1周年記念例会を後輩の野口嘉孝君が経営する脇田温泉の「楠水閣」にて開催。露天風呂で心と身を癒しゆとり。浴衣に着替えリラククスでゆとり。女性の自前の浴衣姿の美しさにゆとり(男性だけ?)。1歳誕生日(1周年記念懇親例会でゆとり。

この日、メンバーの中に、この会と同じ誕生日を迎えた女性、また三日後迎える女性に参加されており、「めでた、めでたの若松様よ...のダブル祝いのゆとり」。ケーキのロールケーキに「フーツ・フーツ」、全員で「Happy Birthday」の合唱。宴の締めは楠水閣の係りの人も参加して全員での炭坑節のフォークダンス?で総踊りでゆとりは最高潮。余韻の二次懇親例会でまたゆとり。

「1周年記念ゆとりの例会」はゆとりを満喫



「次が待ちどおしかー」の声が出、盛会に終えることが出来ました。内藤博

♪ Happy Birthday



3年5組(61回生)女子の集い

還暦同窓会から2年経ってクラスの女性の間から「昼間にチヨツと女性だけでも会いたいね」という話があつていました。春になって東京在住の杉森さん(旧姓久良)が帰福されるといので、急きょ連絡を取り合い、4月4日にセントラルホテルフクオカ「しげ富」で昼食会を開きました。長崎から仲村さん(旧姓阿部)も駆けつけてくれて総勢14名。何十年も会っていない人もいました。会うなり話は弾んでアツという間の4時間でした。元気で再会しましょうと誓い閉会しました。

中村タエ子



40回生(昭和18年卒業)同窓会

私達40回の同窓会を4月21日(金)正午から福岡市大名の料亭「稚加栄」で21名が参加し開催しました。

今年には幹事交代の年でもあり、小林圭助君、魚住五郎君から野中正十四君、平野次郎君へとバトンタッチされました。小林君、魚住君長い間お世話いただきありがとうございます。また新幹事のお二人には快く幹事を引き受けて貰い助かりました。感謝の拍手を送ります。宴も学校時代の悪そう坊主に戻り、懐かしい思い出話に花が咲き、楽しい、嬉しい時間はアツという間に過ぎ、最後に全員で博多手一本で締めて目出度くお開きになりました。



出席者
魚住、大戸、木村(清)、小林、坂本、佐藤、田中、千葉、長、野中、波多江、林、花田(静)、平野(次)、広沢、樋口(武)、藤野、藤村、堀、宮野、渡辺(博)

訃報
謹んでご冥福をお祈り致します。
6月19日 大石 忠 君
7月5日 河原田 穰 平君
8月15日 波多江 宇太郎君

田中 寛

福商100年史...⑤ 草創期の卒業生たち(福商の輝く星)

出光佐三(2回生)

第1回卒業証書授与式は1904(明治37)年3月27日に行われ、卒業生は甲種21人、乙種19人であった。この時代に甲種からは半数の10名(神戸高商5人、東京外語大1人、早稲田大学4人)が進学している。

卒業生と在校生との結びつきも非常に強固なものがあり、同年の9月には講堂で第1回同窓会が開催されたが、この時期は日露戦争の真っただ中でもあった。

出光興産の創業者、出光佐三は1901(明治34)年に第2回生として入学し、1年生から卒業までの4年間を松原校舎で学んだ。出光が入学したときの生徒は309



在学中の出光佐三(中列・右端)

人(甲種147人、予科89人、乙種73人)だったが、そのうち127人が福岡市内からの生徒で、半数以上は周辺郡部からの出身者だった。在校中クラブ活動は講演部とボート部に所属し、「福商六十年史」の中で次のように述べている。「ボート競漕は当初那珂川で行われていたが、次に福岡海岸に移された。私達はボートを海岸に引き上げて船底に種油を塗った。そして見事に優勝しメダルは胸に輝いた。また、入学式の帰途、口をきいたことをきっかけに親友となった同級生で下宿仲間の八尋俊介(東洋製粉社長で三井物産元社長、八尋俊邦氏実父)は当時の思い出を「出光は上西町に下宿していた。初めて郷里を離れたのだからお互い寂しく、友人が唯一の慰め。彼は月琴や筑前琵琶がうまく楽しませてくれた。(中略)上級生になると、実際はしなかったが生徒の全寮制を提唱したり、ストライキをしたり、なかなかの元氣モンだった」と述べている。1905(明治38)年3月卒業と同時に神戸高等商業(現神戸大学)に進み、出光興産を興したことは余りにも

有名である。出光が国際的に知られるようになったのがイラン石油の買い付けだ。当時では最新鋭の大型タンカー「日章丸」を建造して、昭和28年4月石油国有化を宣言したイランと国際石油資本との紛争が生じた際、日本に石油を国際相場の半値で輸入し世界をアツと言わせた。この事件は国際問題に発展、裁判に持ち込まれたが、結局は出光の勝ちになった。経営哲学は一貫して「人間尊重」で出勤簿、定年制もないユニークなものであった。

昭和56年6月96歳の生涯を終えたが、このとき昭和天皇から次の歌が詠まれた。

「国のため ひとよつらぬき
尽したるきみまた去りぬ
さびしと思ふ」

財界人としては初めてのことであり、出光佐三の偉大さがこのことからもうかがえる。



出光佐三氏(故人)

63回生還暦合同同窓会開催のご案内

- 開催日時/平成18年11月3日(金)午後4時~7時
- 場所/セントラルホテルフクオカ
福岡市中央区渡辺通4丁目1-2
TEL (092) 712-1212
- 会費/10,000円

お問い合わせ 実行委員長(1組) 内海 清

57回生(昭和34年卒)合同同窓会開催のご案内

- 開催日時/平成18年11月17日(金)午後6時~8時
- 場所/セントラルホテルフクオカ
福岡市中央区渡辺通4丁目1-2
TEL (092) 712-1212
- 会費/8,000円

お問い合わせ (3組) 吉村公良理事

チョッと寄り道

TOPICS

同窓生のお店を
チョッと紹介



西日本新聞に同窓生の店紹介が載っていた。

博多駅前3丁目にある「味処ひさ」の善生喜久（善生喜利(69回生)さん実兄）、久子(旧姓橋本・62回生)夫妻である。

開業して36年になるとのことで、記事の内容もお二人の人柄からか「自分の家に帰ったような気持ちにさせてくれる店」と紹介している。同窓生の皆さんも一度立ち寄ってみては如何ですか。



高田敬弘(83回生)さんより奨学育英資金にと5万円の寄付がありました。高田さんは母校在学中に奨学生として給付を受けられていたとのこと、「少しでもお返しできればと思い寄付しました」と語っていました。ご厚情に感謝申し上げます。



「珠珠会」発足のご案内

今年の「第56回全国合同同窓大会」が終わった後、セントラルホテルフクオカでいくつかの卒業回生の「二次会」がありました。そこでの席上、同じ同窓ということで一緒になったの会食となり、「縦の糸の会」や「合同同窓大会」などの後に「誰でも参加できる二次会をしよう」と話が盛り上がり、「たまたま」出会った人の会ということで「珠珠会」が発足しました。10月に行われる「さくら会バザー」の協力や本部活動の一助にもなればと思っています。会員皆様もお気軽にご参加ください。

発起人他メンバーの皆さんです。

発起人	岡口靖夫(61回生)	内藤博(61回生)
会長	大庭貞子(55回生)	副会長 善生喜利(69回生)
事務局	谷口政幸(72回生)	会計 宮本信子(72回生)



ブリヂストン創業者石橋正二郎氏と
藤田英一氏(27回生)のお話

世界のタイヤメーカーでNO.1までに成長したブリヂストン創業者石橋正二郎氏の下で40年以上関連業務に努力された藤田英一氏(27回生)の一端をご紹介します。藤田英一氏はブリヂストン入社以来一貫して全てにおいて誠心誠意の努力を精進をされ、その事が若い時から石橋氏に目を掛けられたとの事です。特筆すべき大業に取り組まれたのは

- 1、ブリヂストン東京本社ビルの建設に中心的人材として活躍された事。(久留米勤務中に石橋氏より指名され、工事課長として2年間単身赴任で活躍)
- 2、ブリヂストン自転車(後のブリヂストンサイクル工業)取締役として再建に取り組まれた事。
- 3、久留米文化振興会(石橋文化センター)常務理事等が挙げられます。何れも30歳前後の若い年齢の時であり、昭和42年満55歳でブリヂストンを定年退職され、引き続き石橋財団に移籍(BSの部長待遇)石橋文化センターの常務理事として活躍されました。55歳の定年退職時には石橋社長が東京本社に呼び、自ら34年間の慰労に対し直接お言葉と退職金を手渡されました。また、石橋正二郎翁ご逝去の際(昭和51年)には長男幹一郎氏より翁生前ご着用の洋服一着を形見として頂かれ

たそつです。最後に藤田先輩の人柄を表すお言葉を書かせて頂きます。

- 1、ブリヂストンでの仕事29年、文化センターの業務15年の長い間、創業者石橋正二郎氏の下で直接、間接に石橋家のお手伝いをした事は私の終生の喜びであり、誇りであり、満腔の感謝の誠を捧げたい。
- 2、65歳で石橋家関係すべてのお仕事を勇退させて頂き、久留米文化振興会、石橋財団そして石橋家からも慰労金を頂いたが、果たしてこれらの好意に応える働きが出来たかどうか反省が尽きない。

以上は1998年(平成10年)10月藤田英一氏86歳の時「人生旅路」を出版されましたがその抜粋です。

久留米支部 天野勝(56回生)



元気印の企業紹介 GENKICOMPANYvol.6



ぶたまん屋さんを知っている人は、
知らない人よりもHAPPYだと思う……

ぶたまん屋さん

岩尾 眞さん (80回生)

シリーズとして同窓生で活躍されている「元気印の会社」で今回ご紹介させていただきますのは、『ぶたまん屋さん』の岩尾眞氏(80回生)をご紹介させていただきます。

岩尾氏は福商時代(昭和54年〜57年)にサッカー部で活躍され、昭和56年度インターハイ福岡県予選で優勝し、福岡県代表としてインターハイ神奈川大会に出場。高校卒業後、九州産業大学へ進みサッカー部で活躍されました。

その後、大野城市の『太平閣』で7年の下積み修行後、『ぶたまん屋さん』を独立開業され、今年で創業17年を迎えました。

『ぶたまん屋さん』の『ぶたまん』はアレンジページ等の雑誌で紹介されたり、千趣会等の通販でも大変な評判を呼びました。

この『ぶたまん』は、ビタミンB1を多く含む厳選された豚ミンチ・キャベツ・玉ねぎが原材料です。身体・精神疲労にビタミンB1は大変強い味方となっております。『ぶたまん屋さん』では四季を通じて皆様に喜んで召し上がって頂けるよう真心を込めて年中販売しています。

『ぶたまん屋さん』の『ぶたまん』は、博多大丸東館B2日配コーナーでもお買い求め頂けます。(冷蔵商品のみのお販売となります)

今では、全国的に『ぶたまん屋さん』の『ぶたまん』ファンが広がっていて、そのニーズに応えるため、クール宅急便での全国発送が可能です。遠方のお客様からのお申し込みには、着払いのコレクトサー

ビス便も御利用いただけるようになって
います。

同窓生の皆様、是非、できたての『ぶたまん』をご賞味して下さい。

“HAPPYになりますよ”

絶対におすすめです！

跡部 宗教 (79回生)



ぶたまん屋さん

福岡市南区長丘1-20-1

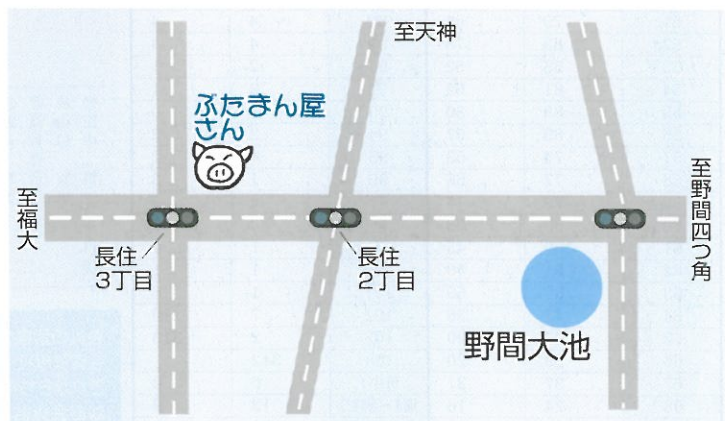
TEL 092-553-2277

FAX 092-553-0028

【URL】<http://www.butaman.jp>

【E-mail】info@butaman.jp

店休日/火曜日



NETWORK SYSTEM REMIX Co., Ltd
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

株式会社 エヌ・エス・エックス

コンピュータ・ネットワークシステム構築
ホームページ企画・制作・コンサルティング
ホスティングサービス・レンタルサーバー
インターネット・WEBカメラ

代表取締役 **跡部 宗教** (79回生)
ATOBE MUNENORI

福岡市博多区博多駅前3丁目29-21 貝真ビル2F
TEL:092-452-7055 FAX:092-452-7071

Total Support Of Computing

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ

代表取締役会長
高木 不二男 (60回生)
TAKAKI FUJIO

〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail:f.takaki@net.email.ne.jp
http://www.mmjp.or.jp/dariya

ミサワエムアルティ-特約店
(有)ヨシイホーム

代表取締役 **吉井 薫** (64回生)

福岡県知事免許(4)第12151号(社)福岡県宅地建物取引業協会会員
〒812-0041 福岡市博多区吉塚1丁目41番9号
TEL 092-621-2840 FAX 092-612-2040

「うまい!」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい 福太郎

代表取締役 **山口 毅** (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

中華料理
和食
海鮮料理

の八仙閣

相談役 **増田 稔** (59回生)

福岡市博多区博多駅前2丁目7-7
電話(092)411-4141番

総合建設業一級建築士事務所
株式会社 五成建業

取締役会長 **安河内 馨** (46回生)

東京都世田谷区上馬4の13の19
TEL 03(3418)8151(代)
FAX 03(3424)9418

株式会社 堀江本店

相談役 **堀江 武** (52回生)
代表取締役社長 **堀江 徹** (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告代理店
株式会社 春潮社

取締役社長 **古川 淳二** (63回生)

福岡市博多区千代4-29-12
電話(代表)641-1031番

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂

代表取締役会長 **中島 勝敏** (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市栗面町288番地305号 TEL-FAX0957-21-0675

工業用テープ
包装テープ
梱包機・梱包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

福岡テープ株式会社

代表取締役 **糸永 清二** (55回生)

福岡市博多区博多駅前2-16-10
TEL 092-411-3929(代)

imai PRINTING

代表取締役社長 **今井 勝彦** (57回生)

今井印刷株式会社

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

躍進する { 総合建設業・木村業
粕屋グループ } 不動産業・アバマン粕屋店
一級建築士事務所
粕屋殖産株式会社

代表取締役会長 **篠原 隆義** (54回生)

本社 粕屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表)621-1331番

有限会社
エステート平野

代表取締役 **平野 俊一** (46回生)

〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目11番8号
TEL(092)431-5616

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 **渡邊 與三郎** (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話(092)721-4531番

環境にやさしい製品作りをめざしています
印刷の
ご用命は **nip 株式会社 ナガヨマ**
ISO14001認証取得

代表取締役 **永島 光雄** (55回生)
笠木 雄二 (65回生)
本村 智彦 (82回生)

福岡市博多区豊1丁目9-18TEL482 7751(代) FAX482 7734

伝えたい・残したい物があるとき
一冊の本にしてみませんか!!
お気軽にお電話下さい。

正光印刷株式会社

藤村 みつ (53回生)

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE:(092)741-3266

クラブ
萌

長谷 洲身子(81回生)

〒810-0801 福岡市博多区中洲2丁目3-1 中洲Fビル3F
TEL092(262)5577

PROFESSIONAL by
Uratsuka PRO.
www.urapro.jp

代表 **浦塚 健二** (89回生)

本社:〒816-0862 福岡県春日市弥生4丁目61-1
TEL/092-584-8057 FAX/092-584-8079
e-mail/info@urapro.jp
☎ 0120-100-822

営業所 福岡営業所/熊本営業所/大分営業所

湯田温泉 湯田風呂
ホテル 楠水閣 湯乃禅
WAKITA SPA HOTEL NANSUIKAKU YU NO ZEN

〒822-0133
福岡県宮若市脇田
TEL 0949-54-0123(代)/FAX 0949-54-0198

専務取締役
支配人 **野口 嘉孝** (73回生)

博多人形・博多織・久留米餅
増屋

取締役相談役 **田中 寛** (40回生)
取締役 **高崎 隆** (43回生)

川端本店/博多区上川端商店街 TEL092(281)0083
支店/天神地下街・博多駅前店・街店・
モスバーガー・薬院店・赤坂店

～玄海の磯の香をそのまま直送～
魚村 天神西通り 大名本店
壽司魚村

福岡市中央区大名1-1-45 福岡市中央区天神2-4-19
天神西通り 魚村ビル 天神西通り 第8ラインビル1F
☎(092)781-7388 ☎(092)711-1182

代表取締役 **日野 孝治** (77回生)

順不同

母校生徒たちが来館 ～全国大会出場おめでとう～



福商会館に7月20日、全国大会に出場する母校の生徒たち11名が顧問の先生方と来館されました。川瀧事務長から各部の生徒たちへ「全国大会での活躍を期待しています」と激励の言葉があり褒賞金を渡しました。生徒からも「ベストを尽くします」と力強く語ってくれました。各分野で活躍している生徒たちの健闘を祈ります。

全国大会出場者及び競技は以下の通りです。

- 大会名 NHK杯 全国高等学校放送コンテスト
期日 平成18年7月24日～27日
会場 東京都渋谷区 NHKホール
出場生徒 アナウンス部門 加古大地(3年)
研究発表部門 西口奈来(3年)、山木麻耶(2年)、
濱崎あかね(2年)、貝屋めぐみ(1年)
- 大会名 全国高等学校総合体育大会 陸上競技
期日 平成18年8月2日～6日
会場 大阪市東住吉区 長居競技場
出場生徒 田口明美(3年) 400mハードル
谷美枝(2年) 走り高跳び
山部倫太郎(2年) 走り幅跳び
- 大会名 全国高等学校総合文化祭 書道部門
期日 平成18年8月2日～6日
会場 京都市左京区 京都市勤業館
出場生徒 林麻希(3年)
- 大会名 全国高等学校総合体育大会 水泳競技
期日 平成18年8月17日～20日
会場 大阪府門真市 大阪府立門真スポーツセンター
出場生徒 谷口実雅子(2年) 50m自由形
谷口実雅子(2年) 400mリレー
下大迫美恵(2年) 400mリレー
小島美恵子(1年) 400mリレー
小柳舞(1年) 400mリレー

競技結果は12ページに掲載しています。

母校演劇部へ 全国大会出場応援カンパを贈る

7月12日に行われた学校との三者懇談会の前に、8月に京都で行われる演劇部全国大会に出場するため、応援カンパとして集まった50万円を山口理事長より顧問の内田先生へ贈呈しました。内田顧問から「全国2,420校から選ばれた11校に入り、次に行われる東京国立劇場の出場資格の4位以内入賞を目標に頑張りたい」と御礼の言葉がありました。



この応援カンパにご協力いただきました、理事、代議員ほか関係者の皆様には紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

応援カンパにご協力いただいた皆様

敬称略

中牟田喜一郎(30回生)、大山安太郎(30回生)、太田誠(31回生)
後藤長兵衛(31回生)、緒方正實(32回生)、篠原康次郎(33回生)
倉成敬造(33回生)、井上政明(38回生)、渡邊與三郎(39回生)
福商40回同窓会一同、山崎孝一(42回生)、柴田照明(42回生)
渡邊健二郎(42回生)、古田鷹治(42回生)、葉山政志(43回生)
中牟田正生(43回生)、都地義彰(44回生)、前田常喜(45回生)
平野俊一(46回生)、古藤清男(46回生)、三浦藤子(48回生)
福商50会一同、高嶋幾雄(51回生)、磯山嘉郎(51回生)
中島清(52回生)、山口毅(52回生)、上田徳蔵(52回生)
安河内眞彦(52回生)、藤村みつの(53回生)、篠原隆義(54回生)
後藤幹生(55回生)、大庭貞子(55回生)、永島光雄(55回生)
山口孝雄(56回生)、今井英喜(56回生)、立川洋蔵(定1)
今井勝彦(57回生)、田中敏(58回生)、篠隈光彦(58回生)
長野哲也(58回生)、秋丸武士(58回生)、川井静樹(58回生)
高木不二男(60回生)、藤井紘一(60回生)、中村タエ子(61回生)
篠崎照(63回生)、内海清(63回生)、吉井薫(64回生)
南原茂(71回生)、秋吉紀生(79回生)、堀弘子(別5)

体育部OB会開く

- 5月12日午後7時30分から福商会館で体育部4部(野球、剣道、サッカー、バスケット)のOB会会長、副会長及び福商会役員が出席し、体育部OB会を開催しました。
- 昨年から母校の体育部の活躍を願って定期的に開いているもので、山口理事長からは「母校を強くするために、学校と連携を図り推薦で多くの生徒が入るようお願いしたい」と熱く語っていました。各OB会の会長からも「中学校向けの競技大会を企画し努力したい」と母校の復活を期待し活動していくことを力強く語ってくれました。

記事に関するお問い合わせは福商会事務局へ

TEL.092-711-9890 FAX.092-711-9266

編集後記

* 第56回の全国合同同窓大会も多数の会員出席のもと、盛大に開催することが出来ました。

参加いただきました会員の皆様へ厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。このことにつきましては当番幹事(81回生)の皆さんには大変な御苦労をかけたのですが、幹事の皆さんが心をひとつにして立派な大会にしてくれました。参加されました皆様と共に感謝します。本当に御苦労様でした。福商会では当番幹事を務めてやっと一人前になれると言われていています。81回生の今後の活躍を大いに期待するものであります。

* 9月号から会報の配布方法を若干変更しましたが、新規の会費納入者が増加しております。また今まで配布していなかった人達の一部にも配布し、会費納入の協力をお願いしております。より多くの会員からの投稿をお願いし、その記事をより多くの会員に読んでいただくことが広報委員の使命だと考えています。広報委員に今回から新しく3名の加入がありました。より親しまれる会報になりますように努めてまいります。

* 後輩の福翔生が文化にスポーツに大活躍をしております。演劇部の資金応援ありがとうございました。他の部活、個人出場者も福商会からの激励を受けて活躍しています。今後とも同窓生の応援をよろしく願います。(後藤)

* 今年も全国合同同窓大会は大いに盛り上がり、会員皆様の談笑する姿を見るにつけ「同窓会って良いもんだな」と思わずにはいられません。この1年間、当番幹事としてこの日のために努力してこられた81回生の皆さん本当にご苦労様でした。これまで同じ学年でも話したことなどなかった人が、当番幹事になった縁で親しくなった方もいるでしょう。是非とも友情を大切にして、交流を続けて欲しいと思います。また、来年は82回生の皆さんが当番幹事です。お世話になります。がよろしく願いいたします。

* 母校へ行く機会が増え生徒たちと挨拶をしますが、大半の生徒が元気よく「こんにちは」と声をかけてくれ清々しい気持ちになります。母校も「福翔改革」として、サテライト講座の導入、カリキュラムの変更などを進めており、これからの発展に期待は高まるばかりです。(川瀧)